



9月！神戸の9月に雨が多い！レインブーツを持っていると便利です！
ポーポキはスタイリッシュな長靴がいいですね。
あなたはどことなくつが好き？

Popoki's Hot News!



「ポーポキのマスクギャラリー」動画！

<https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s>

「ポーポキのおうち」動画

<https://www.youtube.com/watch?v=l8OCzg64oH8>

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのガビーにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

『

私にとって平和とは、私の家族や友人に会ってハグしたりすることを意味します。でも、今ではパンデミックのため、それはあんまりできませんので、時々悲しくなります。しかし、まだ電話で家族の声を聞いたり、画面上で家族の顔を見たり、言葉を読んだりすることができます。これは前と違うけれど、まだ私に毎日大きな平和と幸せを与えてくれます。』

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com) !

「広島デイ」レポート

もりにゃん

8月6日。今年もポーポキ・ピース・プロジェクトでは、8時15分に合わせてオンラインで集まりの場を持った。参加者は、アメリカ・ピッツバーグ市の「Remembering Hiroshima, Imagining Peace」のメンバーやフィジー、メキシコ、インドネシアから日本に来た留学生、そしてポーポキメンバーと様々な地域からの参加者が集いました。

7時30分に開始、まずは「にんげんをかえせ」という20分のフィルムを視聴し、私たちは8時15分までの数分を各自のスタイルでその時を迎えました。「にんげんをかえせ」とは、アメリカの米国戦略爆撃調査団が原爆投下直後に広島と長崎の調査を行った際の原爆記録フィルムを、日本でフィルムを買い戻していくという草の根の運動（10フィート運動）によって製作された記録映画です。1980年から始まった運動は、市民一人が3000円の募金で、10フィートずつ買い取っていくということから、10フィート運動と呼ばれています。

原爆の現実を知ったのち、8時15分を迎えるのは少し恐ろしさや無念さを思いながら、当たり前の日常が奪われる理不尽について思いを馳せました。その後、私たちは各国の核兵器に関する動きについて情報を共有したり、フィルムを見た感想などを話しました。

日本からは、黒い雨裁判のことが報告されました。裁判でこれまで被爆者と認められなかった人たちが広島地方裁判所の判決で被爆者と認められる判決が下された。また、政府はこの判決に対して控訴しない判断をした。これまで被爆者認定をされないために、政府の支援を受けられずにいた被爆者が救済される重要な判決であり、政府の歴史的な決断がなされました。

ピッツバーグからは、アメリカはCOVID-19の猛威が本当にひどいものであるが、そのために核兵器や軍事的動きについて、国民の関心が薄れているという現状についての意見。メキシコからは、核兵器の話ではないけれど、銃規制について政府が動き出したことが共有された。メキシコでの銃による事件や治安の悪さはアメリカで製造される銃によるものということで、メキシコ政府がアメリカの11社を提訴しました。

フィジーからの参加者から、昨年旅先のウエリントンの美術館で第1次世界大戦の展示を見に行った話なども踏まえ、戦争や核兵器の犠牲となるのは女性や子どもといった無実の人々であり、だから核兵器は「禁止」では不十分で「廃絶すべきもの」ものだと意見を述べられ

た。また、フィジーなどの南太平洋島嶼国は、フランスやアメリカの核実験の被害を受けています。長年、被曝被害を訴える運動が行われており、近年若者たちもこの問題に関心を持ちつながりはじめている動きがあるという話もありました。フランスのマクロン大統領はポリネシア領訪問の際に、核実験による負債があることを認め、健康被害の調査に積極的な姿勢を示すが謝罪の言葉はありませんでした。

若者に戦争や核兵器の事実を知る中で伝えたいこととして、ろにゃんからも自身の体験を共有する話があった。ご自身が研究者として歩もうと思った体験として、被爆者との出会いについて語ってくださった。それぞれの被爆者の方は、話したくないご自身の体験や見せたくない身体の傷を、アメリカ人である自分に見せ話してくださったこと。

中でも、フィルムにも出ておられる谷口さんからは、アメリカ人であるということから避けられていた経験について話した。しかし、映画ができて10年目のパネルディスカッションで話をしたあと、被害の実態について一緒になって力になってくれているということに、「ありがとう」と言って握手してくださった、という体験が忘れられないものであり、自身が研究者としての原点となったという体験を話してくれました。

さらに話は続き、彼は本当に身体の傷にも苦しみ、勝手に撮られたフィルムに自分の痛々しい見せたくない映像が残っており、心身ともに痛みを背負っていた、ということです。平和のための活動は、被爆者の方々を二重にも三重にも苦しめることでもあります。彼らの苦しみとともにある核廃絶への彼らの思いを知ってもらいたい、という話でした。ろにゃんの体験に、涙を流して聞いておられる方もおられました。

「体験を語る」ことで、私たちは「戦争は終わらない」「被爆者はここにいる」という事実と直面する。今年、日本ではオリンピックが開催され「平和の祭典」といいながら8月6日に黙祷の実施は行われず、多くのテレビ番組は毎年の戦争を振り返る番組の多くは、オリンピック中継に変えられた。

戦争や被曝当事者が少なくなる中で、彼らと共に核廃絶や被曝体験を伝える活動の歴史についても体験し、知る人たちの話を知る機会も少なくなってきました。「にんげんをかえせ」は、被曝後や被爆者の現状を伝えるだけでなく、その時市民がこの原爆記録フィルムを作るために動いたという大きなうねりを知る一端でもある。戦争体験者や被曝当事者の方々から、彼らと共に活動し話を聞いた人たち、またその方々から話を聞くことでバトンを繋げていかなければならない。そして、「核廃絶」の未来を作っていかなければならない。

最後に、17 歳の高校生が今回興味深く話に参加し、コメントをしてくださったことにも触れておきたい。様々な世代、世界の色々な場所から、8 時 15 分を過ごせたことが私たちの反核への思いを強いものにしてくれた。貴重な体験をありがとうございました。



息子は3歳。
彼と、戦争や核兵器、平和についてどのように語り合うことができるだろう？最初のステップは、ポーポキとお友達になること！

「ねこのポーポキと一緒に安全・安心を 考え、平和をつくりましょう」

(報告者:神戸 YMCA 坂本孝司)

去る2022年8月3日～8月6日まで、第18回多文化共生のための国際教育・開発教育オンラインセミナーが開催されました。昨年度の開催と同じく、新型コロナウイルス感染症拡大の影響からオンラインでの開催となりました。SDGsや covid-19 などのキーワードを切り口に、共に生きる地球社会の実現に向けて、期間中 200 名を超える教職員や学校関係者、そして学生たちが国際理解教育や開発教育について学びました。

オンラインの利点が生きて、兵庫県からはもちろん、大阪、京都などの関西圏からのご参加に加え、宮城県、愛知県、茨城県という遠方からのご参加もありました。

神戸大学大学院国際協力研究科のロニー・アレキサンダー教授からポーポキ、そしてポーポキ・ピース・プロジェクトの紹介があり、ワークショップはスタートしました。

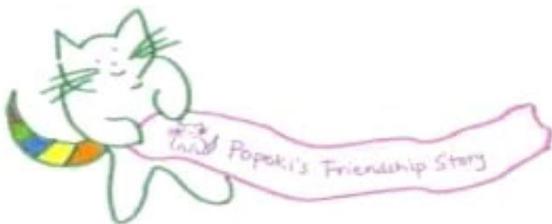
最初に、この日のキーワードとなる「平和」「安全」「安心」という言葉が確認されました。そして、みんなで楽しく身体を動かすポガで、緊張気味の気持ちと身体をほぐして、各グループでのお話し、お絵かき、そして泣いているポーポキに「安心」と「平和」をもたらすためのストーリーを考えるとところまで展開されました。いろんなお話しが共有され、楽しくそして柔らかな気持ちで「安全」「安心」「平和」について考えることができました。

このセミナーが開催されたのは、1 年間延期をされた世界の平和の象徴であるオリンピックが開催されている真っ最中でした。ロニー先生からの「平和の祭典」中の日本は「平和」？「平和の祭典」中の日本は「安全」？という問いがとても印象的でした。テレビに映し出される必死に競技に取り組む選手の姿には、グッと引き込まれ、みんな感動をします。同じ国のすぐそばの医療機関では、新型コロナウイルス感染症の影響で、パンデミックな毎日が今もなお続き、寝る間を惜しんで患者対応されている方々いる。このことは、とても難しいけど、実際に起きてる事実。これを、みんなで考えて、お

話をすることによって、少しおちついて、また進んでいく勇気が与えられたのではないのでしょうか。

考えることがとても難しかったり、心が苦しくなったりすることも、ポーポキがいることによって、私は肩の力を抜いて、落ち着いて考えられるような気がしています。いつもあまり意識できていないことや、当たり前のこととして流してしまっていることをポーポキに気づかせてもらうことがあったりします。

気づいたことや考えたことを多くの方々と共有することで、また新たな考えや感覚を自分の中に入れることができます。本セミナーの目的のひとつとして、参加された教職員の方々が実際に学校で、子どもたちと考えるときのために実施をしています。次の時代を作り出す子供たちにも、ポーポキの感じていることをそれぞれの学校のみんなで想像して、感じたことを話してみたいと感じました。次年度も開催予定です。



Popoki's Interview

聞き手：Gaby にゃん

*新しいシリーズとして、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、日本に留学中のエルサルバドル出身の学生の話です。

Q: 自己紹介お願いできませんか？

A: レネです。エルサルバドルから来ました。24歳で、現在京都に住んでいます。趣味はゲームと読書です。私は今、京都産業大学でコンピュータ工学を勉強しています。

Q: 日本にどのくらい住んでいますか？

A: 私は4年前に留学生として日本に来ました。

Q: パンデミックが始まる前、そして日本で緊急事態宣言が発令される前に、日本での生活はどうでしたか？

A: 私はルーチンを持っていました。平日には朝から午後まで授業を受けました。起きて、学校へ行って、アルバイトをしている日は放課後にそこに行きました。そして週末には、友達と会って一緒に新しい場所に行ったりしていました。

Q: パンデミック/緊急事態宣言の後、あなたの生活はどのように変わりましたか？

A: 一番大きな変化は、ほとんどの授業がオンラインになったことです。しかし、対面授業もありました。私はコンピュータ工学を勉強しているので、マイコンや回路などが必要な実習がありました。その授業では、学校に行かなければならないので、マスクを着用し、距離を開けて座って、話を控えるように言われました。そして、感染を防ぐために、自分のキーボードやマウスなどを持参する必要がありました。アルバイトでは、マスクを着用し、シフトの前に体温を測って、手を頻繁に洗わなければならないことになりました。

Q: あなたは専門学校を卒業して、緊急事態宣言のときに大学に入学しましたが、その経験は期待していたものと違いましたか。

A: 母は私の卒業式のために訪ねてくる予定でしたが、パンデミックと日本とエルサルバドルでの渡航禁止令のために来られませんでした。大学の授業については、パンデミックと緊急事態宣言が始まってから大学に編入する手続きを始めたので、期待通りの様子でした。授業はオンラインだったので、家で受けました。今年の春から大学に入学して、対面で授業を受けるのは少ないです。対面授業にはマスクを着用し、距離を持って座るし、話を控えるように指示されたので、新しいクラスメイトと話す機会はまだありません。

Q: この状況でも何か前向きなことを見つけましたか？

A: オンライン授業では、授業が始まる 10 分前に起きてコンピュータの電源を入れ、準備ができていますので、早起きする必要はないのが好きです。学業以外では、人々が個人空間をもっと尊重するのが好きです。誰も感染されるのを回避したいので、近づきすぎたくないのです。私はそれが好きです。なぜなら、人々の個人空間を尊重することが重要だと思うからです。たとえば、電車やバスでは、以前は、電車の中で人がどのスペースでも空いていれば押し込んで来たり、そこにいる人を押しやりしていたので、不快に感じていました。でも、今では近づきすぎないように心がけており、公共交通機関が利用しやすくなったと感じています。

Q: パンデミックが終わったらどうしたいですか？

A: このように 2 年間近く過ごしているので慣れたというか、これは私の新しい日常なので、考えるのが難しいです。たとえば、今は外でマスクを外すのが変だと感じます。もしかして、自分が病気になったり、他の人を感染させたりするかもしれません。それはしたくないですね。それ以外は、強制隔離や渡航禁止令を気にせずに家族を訪ねたいと思います。まだ行ったことがない日本のあちこちにも行きたいです。

Q: 日本でのパンデミックの影響を受けた他の留学生に何か言いたいことがありますか。

A: 辛抱強くまつことです。想像していたものと違って、事情は良くなります。いつかすべてが普通に帰り、この状況は記憶に残るだけです。



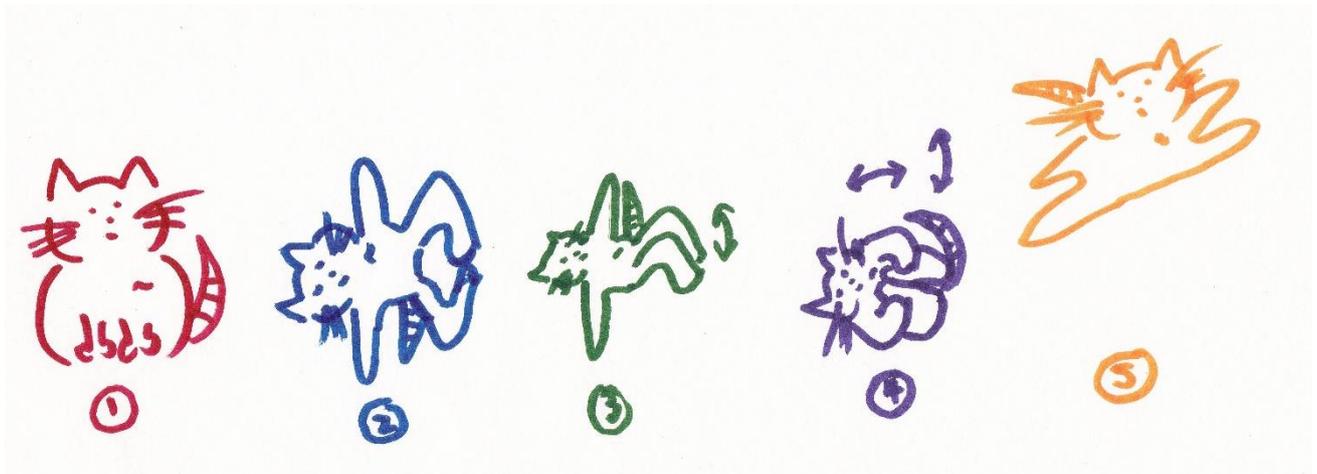
写真:左・左下 感染拡大前によく訪ねていた京都の2か所
写真右下:観光客でにぎわう京都の有名な通りですが、緊急事態宣言のあと、だれもいません



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 161

今月のテーマは、気持ちよくストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、あお向けになりましょう。手を横へのばし、両膝を曲げて開きましょう。大きな息を5回ほど吸いましょう。気持ち、どう？
3. 次は、あお向けのまま、膝を立てる。ゆっくりと左へ倒しましょう。目は右のほうへ。右足を左のふとももにのせるのもいいですよ。この姿勢でまた5回深呼吸してから、反対側で同じストレッチをしましょう。
4. オッケー！真ん中に戻り、膝をまげてから足を抱えましょう。その姿勢でやさしく上下、そして右左に体を揺らしましょう。
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：10月29日 Zoom会議 19:00～*

***リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

11.20 健康と平和ワークショップ（兵庫医療大学・オンライン） 14:00～

12.18? ポー年会

ポーポキの友だちからのおすすめの本等

- ・『りょうくんのすすむみちー学校に行けない君たちへー』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。
- ・大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7
- ・アレキサンダー ロニー&桂木聡子(2020)「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」『国際協力論集』27(2)、17-32 (2020年1月発行) http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- ・Alexander, Ronni (2021) “The Meaning of Art in Disaster Support: Stories from the Popoki Peace Project” 『Journal of International Cooperation Studies』, 28(2), 1-22. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail

Popoki in Print ポーポキ通信のバックナンバー<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑯(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『「ポーポキ、友情って、なに色?」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10



私にとってポーポキ

阿佐優花

私にとってのポーポキは、子供たちを笑顔にすることができる存在だと考えています。子供たちは楽しいときのみならず、チームで協力したとき、昨日できなかったことが、できるようになったとき、苦手なモノを克服したときなど、さまざまな経験を通して、笑顔になります。今回は、その中でも夏休みにちなんだお話をシェアしたいと思います。

私は夏休みの2泊3日間、小学生10人（学年は1年生から6年生までばらばら）と共に生活するグループリーダーとして、キャンプ運営に携わった経験があります。このイベントに参加した小学生の人数はなんと約120人！各グループに私のような大学生がリーダーとして参加し、グループ内の子供たちのお世話をしました。まず、グループに分かれてアイスブレイクが始まりました。私の担当したグループの子供たちは全員が初対面であったことから、キャンプ初日の自己紹介のときには、みんな緊張している様子でした。そこで、私は彼らの緊張をほぐすために、共通点探しゲームを行って、このグループ全員の共通点を探すことに決めました。すると、「メガネかけていない！」「みんなピンク色は好き？」「チョコレートが好き！」などとみんなが次々に案を出し合っていくうちに次第に緊張もほぐれ、うれしいことに彼（女）たちの笑顔が増えていったのです。

その共通点探しゲームのおかげで、その後の活動では、私も含めグループ全員が川あそび、夜のゲーム大会など「楽しむ」とときには、どのグループよりも全力で楽しむことができたのみならず、低学年の子が迷子にならぬように、高学年の子が手を握ってくれたり、髪の毛を結ぶのを手伝ってくれたり。また、苦手な野菜を食べることができた子に「すごいね！」と、みんなそろって声をかけることができたりなどなど、仲間と協力しながら、全力で楽しむことができました。

このように、私を含めグループ内みんなに仲間意識がうまれたことから、最終日にはこのキャンプでできた新しい友達との別れを惜しみ、泣いてしまう子がいるほど、このキャンプは子供たちをたくさん笑顔にしてくれたのです。それはまるで、いつも私たちに笑顔を届けてくれるポーポキのような存在でした。ポーポキは「平和ってなんだろう」「安心・安全を感じるときっていつだろう」と考える機会を私たちに与えてくれると同時に、このキャンプ活動のように、みんな（もちろん大人だって）を笑顔にすることができるかと確信しています。



写真：子供たちから私へのプレゼント



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!